片山かおるのちょっとカエル通信

66号

おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

小金井市議会議員

発行日：2016年10月24日
発行・連絡先：小金井市議会「緑・市民自治こがねい」小金井市本町6-6-3
緑・市民自治こがねい　会派ニュース

市長の公約はいったいどうなる!?

「6施設複合化」から「ゼロベース」の見直しへ

第3回定例会（9月議会）が終わりました

庁舎問題は迷走しています。

西岡市長の公約を検証するため３月に設置された「6 施設複合化プロジェクトチーム」（PT）は、8/31 に市長へ最終報告書を提出しました。

報告にはジャノメ跡地に庁舎を複合化して建設する４つの想定案があげられています。しかし議会が求める、1) 財政計画、2）スケジュール、3）稲葉前市長案の本町暫定庁舎用地に新福祉会館を建設する計画との比較考量についての回答はありませんでした。

9/7 の全員協議会では PT からの説明を聞き、各会派から意見要望を提出。10/4 には PT の報告と各会派の意見をもとに、市長の方針が出される予定でしたが、市長報告には「ゼロベースで見直す」とあります。

議会の理解が得られない、という説明が繰り返されましたが、私たち「緑・市民自治こがねい」は、６施設複合化から４施設２機能（市庁舎と福祉会館）複合化に市長が方針変更したことにも理解を示し、早期に具体的な予算等を出すことを求めていました。

また、市庁舎の場所の決定は特別多数議決（2/3 以上の賛成）が必要とされていますが、これまで市議会の全員がジャノメ跡地へ庁舎を作ることには合意をしています。

議会の理解が得られない、という説明は成り立ちません。

まもなく就任から一年が経ちます。西岡市長は 12 月議会前に全員協議会を開いて市長方針を示し、市民への説明を行い、早急に市庁舎建設に向けて動き出すべきです。

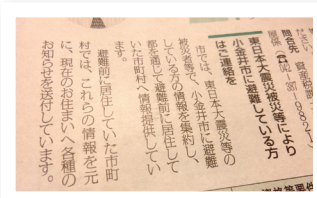
片山かおるの一般質問（9/6（火））

だれもが差別されず共に生きる社会を

相模原の障がい者施設「やまゆり園」での大量殺人事件を受け、差別を許さない市の取組み、市長の声明を求めました。厚労省の報告を見てから検討するとのこと。市内で自立生活する障がい者の生活状況を市が把握していないこともわかりました。「共生社会」といっても、障がい当事者や関係者以外の人たちに、どうしたら関心を持ってもらえるのか、という部長の問いかけがありました。市民の積極的な関与が求められています。12/3の障がい者週間のイベントでは、やまゆり園の事件を受けてシンポジウムや語り合いがあります。ぜひ参加しましょう!

原発事故避難者への支援について

小金井にも震災・原発事故による避難者の方がいます。都や市に登録されていないと情報が行き届きません。市報やHPでの登録のお知らせを求めたところ、掲載されました。



避難者への市報でのお知らせ

原発事故による放射能汚染は長く続きます。国からの支援や東京電力による賠償は当然なのに、住宅支援は来年3月に打ち切られる方針が出されています。空家空き室活用など自治体での独自の支援体制を求めました。

環境配慮住宅型研修施設を小金井の観光資源、自然・省エネルギーの発信地として活用しよう

現在の「環境楽習館」（旧「雨デモ風デモハウス」）。市民が発案し都の補助金を大量に使って2011年に作られた環境配慮住宅型研修施設は、今でも各自治体から関心を集めています。自然エネルギー活用の実践事例、小金井の観光資源としてもっと積極活用すべきと提案。

都知事選での市長会の対応について

7月の都知事選で西岡市長は増田候補応援を表明しました。市長会の打ち合わせ会を使って都知事選への対応の呼びかけがあったとのこと。公費が使われている市長会は政治活動や選挙活動に利用すべきではない、という市長の見解を確認しました。

2015年度の一般会計決算は議長採決で認定（9/23,26—28,30 決算委員会）

稲葉前市長が提案し、12月から3月までは西岡新市長が執行した決算。市税収入が増えていますが、取り立ても厳しくなっています。学童保育所4所が4月から稲葉前市長のもと民間委託されてしまいましたが、そのうち1所（さわらび学童）は年度途中で委託業者が次年度の契約をしないと表明し、再び市が直営で運営することに。新福祉会館建設市民検討委員会を市長選の最中に立ち上げ、市長が代わったことで、市民検討委員会はストップ。稲葉前市長が遺した負の遺産は大きい。

西岡市長は決算年度中に認可保育園の保育料値上げを子ども子育て会議に諮問。就学援助の認定倍率引き下げの検討も行なっています。就任直後から子どもに厳しい市政を進めています。

一般会計は決算委員会では不認定に。本会議では議長採決で認定となりました。

ようやく「フードドライブ」を試行（9/15 資源循環型社会推進調査特別委員会）

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設などに提供する活動です。以前から、福祉部署と連携して実施せよ、と提案していましたが、今年のなかよし市民まつりで、ごみ対策課がトライすることになりました。集めた食品は市外のフードバンクに寄付し、市内で循環するものではありません。また、集めるのも賞味期限が長い加工食品ばかり。本来は生鮮食品などもやりとりして、市内で必要な人に渡せる仕組みづくりが必要です。

なかよし市民まつりでのフードドライブのブース

就学援助の認定倍率を元に戻す条例が議員提案（10/24 に審議）

就学援助の認定倍率が簡単に引き下げられたのは、就学援助が要綱で規程されているためです。議員提案で条例とすることができます。私も提案議員のひとりになりました。認定倍率を元に戻すこと、クラブ活動費を含めるなどの提案がされています。10/24 の厚生文教委員会で審議されます。

もうひとつ、市民参加条例の住民投票条項の改正案の提案議員にもなっています。こちらは継続審議中。小金井市議会ではいつも、意見書や条例などの議員提案が数多く出されています。

「政治分野への男女共同参画推進法の制定を求める意見書」が全員一致で可決！

小金井市議会は24人中10人（41.6%）が女性議員ですが、他自治体や国会では、まだまだ女性議員は少なすぎます。政策決定の場に女性の声は必要不可欠です。昨年の9月議会でも同様の意見書を提案したところ、賛成多数でしたが退席もいました。今回は全員一致です。小金井の意見書可決について、国会の議員会館での院内集会で報告しました。今国会中に制定されることを期待します。

推進法を求める院内集会で報告

ウワサの「政務活動費」、小金井ではどうなっている?

富山市議会で12人もの議員が辞職することになった政務活動費の不正利用。小金井市議会ではどうなっているのか、と何人もの市民から聞かれました。小金井市議会では、一人月3万円（年36万円）が会派ごとに支給され、マニュアルに沿った運用がされています。年度末に各会派でまとめた収入・支出報告書と支出調書を市HPで公開しています。領収書や日計表は、議会改革の中でHP公開を求めてきましたが一致していません。小金井市議会でも再度、HPでの全面公開について検討すべきです。

議会日程

10/23（日）市議会初!『議会報告会』（萌え木ホール）15:00～17:00
10/24（月）厚生文教委員会
11/4（金）行財政改革調査特別委員会
11/8（火）資源循環型社会推進調査特別委員会
11/10（木）建設環境委員会
11/14（月）議員研修会（10:00～12:00）
11/16（水）議会運営委員会
11/17（木）総務企画委員会
11/28（月）議会運営委員会（14:00～）
12/1（木）第4回定例会　初日　（12/4（日）日曜議会）

片山かおるプロフィール

1966年生れ。総務企画委員、資源循環型社会推進調査特別委員、議会運営委員。市民グループ「市民自治こがねい」共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。全国フェミニスト議員連盟、市民自治をめざす三多摩議員ネット、緑の党、「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

◇片山かおる　連絡先◇
小金井市中町4-17-11　TEL&FAX:042-316-1511
http://katayamakaoru.net/　office@katayamakaoru.net
ツイッター、フェイスブックは「片山かおる」で検索

●ご意見、ご感想をお寄せください